

# 図書だより 11月

田原本町立北中学校  
令和3年11月  
第7号

## ビブリオバトル

今年度も、1年生と2年生でビブリオバトルを行いました！ みんな自分のお気に入りの本を、一生懸命紹介してくれていました。今年度はタブレットを使ってプレゼンテーションを行う強者も登場し、昨年以上に盛り上がりました。

1年生は初めての経験だったにもかかわらず、とても上手にプレゼンテーションをしていて驚きました。緊張している人もいましたが、全体的にみんなにこころしながらか、笑顔で紹介してくれていたのが印象的でした。1年生は学級の人数が多いので、設定時間を4分にして実施しました。2年生は2回目ということもあって、落ち着いたプレゼンテーションでした。1年生より長い5分という時間を、ほとんどの人がしっかり使い切ってくれていました。どの本もとてもおもしろそうで、読みたい本が一気に増えました。生徒の皆さんからもそういう声をたくさん聞いたので、各班でチャンプに選ばれた本(みんなが読みたいと思った本)は購入して図書室に置いています。まだ入荷できていない本もありますが、順次入荷予定ですので、ぜひ借りに来てください♪

### 1年1組のチャンプ本



「人生終了ゲーム センタクシテクダサイ」/cheery (スターツ出版)  
瞳が通う中学の3年3組は、先生からも評判の仲良しクラス。そんな3組がある日突然、政府の実験の対象に!?それは、命の重みをわからせるための“センタクシテクダサイ”というゲーム。“センタク者”に選ばれたら、1時間以内に“A”もしくは“B”の人物を殺さなければならない。もしセンタクしなかったら…自分が死んでしまう!?平和だったクラスはどうなっちゃうの?最後まで目が離せない大人気サバイバルホラー!!

### 1年2組のチャンプ本



「あの夏が飽和する。」/カンザキ イオリ (河出書房新社)  
今度こそ、大切な人を守りたい—あの夏、逃避行の果てに、流花は自ら命を絶った。そして十三年後、生き写しの瑠花が現れる。破滅に向かう瑠花と同級生の武命。千尋は、中学時代の十字架を乗り越えて二人を教えるか。戦慄の決行日は二学期の始業式。命を懸けた、ひと夏の闘いが始まる。

### 2年1組のチャンプ本



「不発弾」/乃南 アサ (講談社)  
今度はおあなたが、爆発させてみる? 退屈な日常から逃れられるきっかけなんて、どこにでも転がってる。デパート勤務の的場智明は、地味な売り場での仕事に耐える日々を過ごしていた。そんな折、息子や娘の、“秘密”を妻までが一緒になって隠していたことに気づく。たまりにたまった憂さをはらすために彼がとった行動とは……。

### 2年2組のチャンプ本



「元女子高生、パパになる」/杉山 文野 (文藝春秋)  
セーラー服を着ていた。30歳で死のうと思っていた。そんな僕に、こんな未来が訪れるなんて——。父として、LGBTQムーブメントのリーダーとして、仕事、家族、恋愛など、社会の「普通」を問い直す、フミノの奮闘記。

みんながどんな本を読んでいるのかが分かって、聞いているこちらもとても参考になりました。みんなよく読んでいて感心しました!



### 10月の多読賞!

順位	1年生	冊数	順位	2年生	冊数	順位	3年生	冊数
1		7	1		15	1		13
2		4	2		8	2		9
3		2	3		5	3		4
		2	4		5			4
		2			4	5		3
		2	6		3	6		2
		2	7		3			2
					2			2
					2			2
					2			2

# その他のチャンプ本

※全部掲載できなくてゴメンナサイ



## 「麦本三歩の好きなもの」／住野よる（幻冬舎）

好きなものがたくさんあるから、毎日はきっと楽しいー。

図書館勤務の20代女子・麦本三歩のなんでもないけど幸せな日々を描いた心温まる日常小説。



## 「風が強く吹いている」／三浦しをん（新潮社）

箱根駅伝を走りたいーそんな灰二の想いが、天才ランナー走と出会って動き出す。「駅伝」って何？走るってどういうことなんだ？十人の個性あふれるメンバーが、長距離を走ること(=生きること)に夢中で突き進む。自分の限界に挑戦し、ゴールを目指して襷を繋ぐことで、仲間と繋がっていく…風を感じて、走れ!「速く」ではなく「強く」ー純度100パーセントの疾走青春小説。



## 「お父さんはユーチューバー」／浜口 倫太郎（双葉社）

宮古島のゲストハウス「ゆいまーる」のひとり娘、小学五年生の海香は絵を描くことが大好き。将来は東京の美術大学に入りたいと思っていた。

そんなある日、父親の勇吾が宣言した。

「俺はユーチューバーになる!」

宮古島の自然とゲストハウスに集う人々を通じて描く、家族小説。



## 「むかしむかしあるところに、死体がありました。」／青柳 碧人（双葉社）

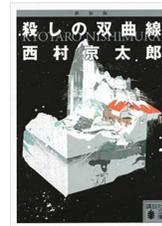
鬼退治。桃太郎って……え、そうなの？ 大きくなあれ。一寸法師が……ヤバすぎる! ここ掘れワンワン。埋まっているのは……ええ!? 「浦島太郎」や「鶴の恩返し」といった皆さんご存じの《日本昔ばなし》を、密室やアリバイ、ダイイングメッセージといったミステリのテーマで読み解く全く新しいミステリ!



## 「グッバイ宣言」／三月 みどり（KADOKAWA）

単位さえ落とさなきゃいいや、学校に行くのは最低限でも。でもまあ、無難に勉強はして、普通に大学にも行って、なんとなくサラリーマンとかになって……。

家に籠ってゴロゴロしながら、そんなありきたりな未来を思い描いていた。でも高校最後のあの春に、破天荒で天真爛漫で、そして誰よりも夢に向かって真っすぐなキミに出会い、染められてしまったんだ。正反対のはずだった二人が出会い惹かれ合う。恋と夢の実現という天秤で揺れる、二人の選択は――。



## 「殺しの双曲線」／西村 京太郎（講談社）

差出人不詳の、東北の山荘への招待状が、六名の男女に届けられた。しかし、深い雪に囲まれた山荘は、彼らの到着後、交通も連絡手段も途絶した陸の孤島と化す。そして、そこで巻き起こる連続殺人。クリスティの『そして誰もいなくなった』に挑戦した、本格ミステリー。



## 「魔女の旅々」／白石 定規（SBクリエイティブ）

あるところに旅の魔女がいました。彼女の名はイレイナ。旅人として、色々な国や人と出逢いながら、長い長い旅を続けています。魔法使いしか受け入れない国、筋肉が大好きな巨漢、死の淵で恋人の帰りを待つ青年、滅んでしまった国に独り取り残された王女、そして魔女自身のこれまでとこれからのこと。わけのわからない可笑しな人や、誰かの美しい日常に触れながら、今日も今日とて魔女は出逢いと別れの物語を紡いでいきます。



## 「アリス殺し」／小林 泰三（東京創元社）

栗栖川亜理はここ最近、不思議の国に迷い込んだアリスの夢ばかり見ている。ある日、ハンプティ・ダンプティが墜落死する夢を見た後、亜理が大学に行くと、玉子という緋名の博士研究員が校舎の屋上から転落して死亡していた。グリフォンが生牡蠣を喉に詰まらせて窒息死した夢の後には、牡蠣を食べた教授が急死する。夢の世界の死と現実の死は繋がっているらしい。不思議の国で事件を調べる三月兎と帽子屋によって容疑者に名指しされたアリス。亜理は同じ夢を見ているとわかった同学年の井森とともに冤罪を晴らすため真犯人捜しに奔走する。



## 「僕と君の365日」／優衣羽（ポプラ社）

――僕らの恋愛にはタイムリミットがある。

毎日が無難に過ごしていた僕、新藤蒼也は、進学クラスから自ら希望して落ちてきた美少女・立波緋奈と隣の席になる。だが、その矢先「無彩病」――色彩が失われ、やがて死に至る病気になったことを知り、僕は自暴自棄になってしまう。そんなとき緋奈は「あなたが死ぬまで彼女になってあげる」と約束してきて……。僕と君の契約のような365日間の恋が始まった。

衝撃のラスト、驚きと切なさがあなたを襲う! 心が震える、最高のラブストーリー!!



## 「か「く」「し」「ご」「と」」／住野よる（新潮社）

みんなには隠している、少しだけ特別な力を持った高校生5人。別に何の役にも立たないけれど、そのせいで、クラスメイトのあの子のことが気になって仕方ない――。彼女がシャンプーを変えたのはなぜ? 彼が持っていた“恋の鈴”は誰のもの? それぞれの「かくしごと」が照らし出す、お互いへのもどかしい想い。甘酸っぱくも爽やかな男女5人の日常を鮮やかに切り取った、共感必至の青春小説。